

会議議事録

会議の名称	令和6年度 第2回さぬき市子ども・子育て会議
開催日時	2024（令和6）年10月16日（水）14時30分～16時35分
開催場所	さぬき市寒川庁舎 301・302会議室
出席者氏名	松原委員、杉浦委員、三谷委員、大山委員、山中委員、松本委員、山本委員、岡本委員、朝倉委員、川地委員
欠席者氏名	山下委員、射場委員、阿部委員、新開委員
事務局職員氏名	健康福祉部 中川部長、教育委員会 佐藤部長、幼保こども園 酒井課長、国保・健康課 藤井課長、学校教育課 高西課長、子育て支援課 谷課長、幼保こども園課 西川、国保・健康課 白井、子育て支援課 山本、浅利
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2期子ども・子育て支援計画に基づく令和5年度進捗状況について (2) さぬき市こども計画骨子案について (3) さぬき市就学前施設の現状について 4 その他 5 閉会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、委員名簿、FAX送信票（議題1について） ・ 第2期さぬき市子ども・子育て支援計画進捗状況 ・ 第2期さぬき市子ども・子育て支援計画（令和5年3月一部改定） ・ さぬき市こども計画骨子案 ・ さぬき市就学前施設の現状について
その他	傍聴 1名

議事内容	
事務局	・開会
会長（進行）	・挨拶
事務局	・出席者確認、会議の成立、会議の公開について ・傍聴の希望者が1名いらっしゃいます。
会長（進行）	・市の傍聴要領に基づき、傍聴を許可します。 ・議題（1）第2期子ども・子育て支援計画に基づく令和5年度進捗状況について、及び（2）さぬき市こども計画骨子案について、事務局より説明願いたい。
事務局	・配付資料確認 ・第2期さぬき市子ども・子育て支援計画（以下「2期計画」）概要、第2期さぬき市子ども・子育て支援計画進捗状況、FAX送信票説明
（株）ぎょうせい担当者	・さぬき市こども計画 計画の概要（骨子案）（33ページまで、以下「骨子案」）説明
会長（進行）	・意見があれば伺いたい。
委員	・骨子案22ページに今後の課題・取組の方向性の3番目に「こども家庭センターの2025（令和7）年度の設置」とあるが、さぬき市で行うのか、民間で行うのか。
事務局	・さぬき市での設置を検討しています。「さぬきッズ子育てサポートセンター」を運営している幼保こども園課や子育て支援課、国保・健康課3課を中心にリニューアルすることで進めています。
会長（進行）	・そのほかにあれば伺いたい。 ・同1番目には「子育て支援センターの利用促進に向け、周知に取り組む必要があります」とある。これについて私の大学のゼミの学生が卒論のテーマに選び、調べるのだが、数年前と昨年調べた学生どちらからも「周知不足」が問題点として挙がっている。具体的な方策は今後検討すると思うが、利用促進に向けたアイデアがあれば、教えてもらいたい。
事務局	・子育て支援課やさぬきッズ子育てサポートセンターを中心に、母子手帳交付時に周知しています。子育て支援センターの運営協議会でセンター間の情報を共有し、センターの行事をケーブルテレビ等で情報を発信しています。情報の提供不足を真摯に受け止め、発信の工夫を検討していきたいと思います。 ・香川県で子育て支援センター等、子育て関連施設をまとめたホームページを作成しているところです。SNSを使った周知方法が効果的になってくると考えています。
会長（進行）	・非常に重要な施策だ。
委員	・全体的に、取組内容から今後の課題や方向性を考えているのは誰か。
事務局	・毎年度初めに、現行の第2期さぬき市子ども・子育て支援計画の進捗状況について、それぞれの担当課から実施した取組や今後実施する取組を提出してもらい、それをまとめたものを冊子にし、子ども・子育て会議で報告しています。今回は、ほかの議題のボリュームの関係で省略しました。

議事内容	
委員	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容は分かったが、課題や方向性については分からなかった。骨子案は案でなくなったら、市のホームページ等に掲載するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントで公開する予定です。また、令和6年4月1日からは、附属機関の会議の結果を市のホームページで公開することになっているので、今日の資料は10月末頃を目途に掲載されると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> そのときは具体的な書き方になるのか。今のような感じだと、あいまいに書かれていて分からない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 会議の資料は当日配布した資料を掲載する必要があるため、そのまま掲載します。今後、進捗状況等を取りまとめる際に、もう少し具体的に記載してもらうよう、関係課に依頼する必要があると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化は深刻な課題だが、対策の妙案はなかなか出ない。発想の転換で、少子高齢化をマイナスではなくプラス面で捉え、そういった施策や行政はできないかと思う。経済的支援を増やせばよいが、それだと税金を増やさないといけない。支援を多く、税金を少なくはできない。実際は難しいが、施策を進める上で考える必要があると思う。 安心して暮らすことができる基盤の整備ということで、80パーセントくらいの確率で来るといわれている南海トラフ地震を前面に出してもよいのではないか。「防災訓練等を実施しました」と取組内容にあるが、大変だと親が意識することが大切だ。骨子案を読むと、あまりそれが感じられない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な意見をありがとうございました。今回の会議の内容を踏まえて、さらに綿密に検討していきたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市がアンケートをして、一生懸命取り組んでいることはすばらしいと思っている。いろいろな施策を実施して、すごく改善したものもあると思う。課題もあるが、そういう良い面を前面に出してやっていってもよいと勝手に思う。回答は要らない。 幼稚園は園児が少なくなり、深刻なことになっている。よしいけこども園は定員いっぱいだが、何か特徴、魅力があるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> よしいけこども園も、たらちね保育園も定員より多く入っていると思う。よしいけこども園は私立なので、保護者のニーズに近いものにしていこうとしている。私が15年前によしいけこども園に戻った当時は定員60名だったが、ニーズを少しずつ聴きながら、できることをやっていこうという積み重ねが今になっていると思っている。多いのがよいとは思っておらず、少なくとも保護者の「この園に来てよかった」という声がたくさんあればいいと思う。 高松市の園で働いていた頃は、施設の横をはじめ周囲に施設が建つなど、私立園の競争が厳しかった印象が強い。さぬき市で競争しようとは思っていないが、職員や保育の質がよくなればよいと思っている。しかしまだそうでもない。志度はさぬき市内でも子どもの数が多い地域ということもあるので、園児数が増えているのもあると思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズはどういうものがあるか。

議事内容	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第一は職員の質だと思う。保護者が安心できないとだめだと思うので、子どもと関わる職員の資質、そしてなるべく見える化をしていこうと、動画等でできるだけ発信していこうとしている。また、いつでも保育参観してくださいというのもあり、なるべく透明化していこうというのが第一だと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズは大事で、子どもが生き生きしている姿が保護者にとっては大事だ。今、発達障害児が増えている状況だが、保育園のスキルを上げることで対応できると思う。ニーズの中で一番困るのは、我が子を好きになれないという親だ。公にはしないが、どう対応したらよいか悩む。時間外保育や土日保育、母子家庭で、自分の自由な時間がほしいという人もいる。子どもが嫌になってくると、どう対処するかは行政と連携していかないとどうにもならない。それ以外はどの園も同じで、子どもの育ちのためにどうやっていったらよいか、分かっていない親に対して、食育等を含めて提案すると保護者も安心する。子育てを行政と保育園と保護者の三者で支援していきたいなと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前の子どもだけでなく、後にいる親もターゲットにして、魅力的な園にしている。子育ては親育ちに結び付かないと、いい子育てはできないのではないかなという感じがする。常に子どもを見ているが、親と話すことや聞くことが大事だと思った。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や認定こども園の人数の状況等は、骨子案 15 ページにある。14 ページでは「さぬき市は働く女性が多い」という説明があったので、それが認定こども園等に保育のニーズを求めるところもある感じがした。 ・ほかにあれば伺いたい。 ・別の町でも子育て会議の会長をしており、その町で1か月前くらいに会議があった。兵庫県明石市の出生率が上がっているという話題が出て、その町長が「うちと同じくらいだ。ほかに何をしたらよいか」と話したのが印象に残っている。市町それぞれに事情があり、ニーズが違うことが結果にも出ている。多種多様な施策で、さぬき市独自の子育てニーズに基づき、ここに力を入れてやっていこうという施策があれば、一つ二つ指摘してもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・絞りたいのですが、絞ると別の施策に若干影響が出てくるので、できていない実情があります。さぬき市は子育て世代の共働きの割合が高いので、子育て支援センターや就学前施設、病児・病後児保育等いろいろな受け皿があり、子育て世帯を必ず漏らさずバックアップできるような、困ったときにどこかが拾って、孤立させない取組がさぬき市の強みでないかなと思います。

議事内容	
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・私の勤務している大学は、保育園や幼稚園の教員を養成しているので、個人的な関心になるかもしれないが、教えてもらいたい。 ・子育て支援が国の政策として大きく推進され始めたのは平成6年頃で、第一次エンゼルプラン、第二次と子育て支援策が進められた。エンゼルプランが出たとき、幼稚園や保育園の園長が「あれは子育て支援ではなく、母親の手抜き支援だ」というようなことを言っていたのが耳に残っている。その後、エンゼルプラン、新エンゼルプランと続いていくが、平成15年に合計特殊出生率が1.26と、子育て支援を始めて約10年後に最低を記録してしまった。以来、子育て支援は子育てしている母親を支援するというだけでなく、社会全体を変えていくということが認識されて今に至っている。 ・いろいろな人の努力もむなしく、合計特殊出生率が1.20まで下がっていく状況で、子どもの育ちを支えると同時に、子育てしている家庭をいかに支えるかが重要になり、家庭の子育てする力を育てる、子育て力をつけることも大きな方向性だと思う。そういったことがプランの中に考えられているのかが確認できなかったもので、教えてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の子育て力をつける直接の内容については、骨子案24ページ施策の推進内容（4）の主な取組内容1番目に記載している取組を実施しています。 ・配慮が必要な家庭等で育った子は、自身が愛情を受けて育っていないために、子育て年代になっても同じように愛情のかけ方が不得意になってしまう。また、虐待を受けて育った子については、同じように虐待の連鎖が生まれるということをも未然に防ぐため、基本目標4「配慮が必要な家庭や子どもへの支援」として、配慮が必要な子どもや家庭をここで支援することで、虐待の連鎖等をくみ取れる内容も一部盛り込んでいます。
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子案22ページ以降に記載しているものは、各担当課の取組のポイントを絞って要約したものです。元の資料には、例えば「令和2年度の利用者は何人、こんな問題があった。令和3年度はコロナの影響で実施できなかった。その代わりにこういうことを実施した」など、事細かに記されています。 ・先ほど意見のあった同ページの「子育て支援センターの利用促進に向け、周知に取り組む必要があります」についても、担当課からは周知についてのアイデアが出ています。次回の会議で説明する、今後5年間の施策の中で具体的な周知方法を書いていくこととなります。あくまでもこれは振り返りで、次回の会議で示す素案で、今後の周知について審議してもらいたいと思います。

議事内容	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは振り返りで、これを元に素案を作ることになるということだが、子育て支援に重きを置かれると思う。支援だけでは自立できないので、会長が話した子育て力のような、キーワード的な言葉を目標に入れて、そのキーワードに対してこれをやりたいというようにしたら、分かりやすいと思った。 ・ニーズがたくさんあるから絞れないという話があった。子育てする親と子どもが主体になるが、その人たちの細かな意見を全て拾いきれない。市としてどういうことをするのか、行政側が提示しないと的が絞れないと思う。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・2期計画36ページに基本理念と施策体系があります。基本目標は5つあり、各基本目標に施策の推進内容がいくつかあります。37ページ以降は、各施策の推進内容の細かな取組が書かれています。計画を見直すにあたっては、取組の振り返りをした上で、アンケート結果による保護者のニーズや子どもの考えを踏まえながら、一つ一つ見直す作業をこれからやっていくこととなります。その中で重点的にやっていかないといけないことが出てくると思うので、必要であれば「今後5年間ここを重点にしたいと思います」ということも検討していく必要があると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念は、どれくらい市民に普及したか。していないのなら、5年間何もしていないかと同じだと思う。
会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ということか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・広報すべきかどうかは分からないが、基本理念には、こういうふうにさぬき市はやっていくんだということが込められているのではないか。それなら市民にもっと普及されるべきではなかったか。自分は知らなかった。
会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・それは感想ということでよいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は知らなかったということを伝えておく。
会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの説明という話があったので、骨子案の説明を進めてもらいたい。
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子案(34ページ以降)説明
会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いておきたいことがあれば、伺いたい。 ・調査結果から、さぬき市の独自性や重点施策等についても導き出されると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子案60ページの2番目に「孤立を防止するためにも、市の相談窓口をはじめ公的な相談機関の周知や利用の促進」とあるが、若い世代が窓口を訪れるのは、ハードルがかなり高いと思う。100パーセント近い親世代がスマートフォンを持っていると思うので、窓口よりも24時間SNSで自由に相談できる窓口を開設して活用したらどうかと思った。また、来年度設置される「こども家庭センター」に人員を配置して、必要な所は家庭訪問をする形でフォローできたらよいと思った。 ・子ども・子育て支援計画の当事者は子どもなので、親だけの感覚や行政だけの感覚で進むのではなく、子どもの意見をしっかり反映できる仕組みを作ってもらえたらと思う。子どもも計画に参加するところが大事だと思った。

議事内容	
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・若い子育て世代にとっては、スマートフォンが有効的なコミュニケーションツールとなっている。SNSだと窓口に行くよりもハードルがかなり低くなる。 ・ほかにあれば伺いたい。 ・それでは議題（3）さぬき市就学前施設の現状について、事務局から説明願いたい。
事務局（幼保こども園課）	<ul style="list-style-type: none"> ・さぬき市就学前施設の現状について説明
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・意見があれば伺いたい。 ・公立の幼稚園では、預かり保育を実施しているか。
事務局（幼保こども園課）	<ul style="list-style-type: none"> ・実施しています。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・5ページ県内1施設当たりの入所・入園児数に、高松市が入っていない。比較対象にすると、何か合わないところがあったりするのかな。
事務局（幼保こども園課）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設数が多く、規模も大きすぎたので、今回は外しました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・4ページの表を見ると、大規模改修の必要性の項目に丸印が多くついている。どの程度の改修を想定しているのか。また、今後の予定はどうか。
事務局（幼保こども園課）	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、この施設をどうしていくかを考え、それから改修を考えていかないといけないと思っています。今後園児数がどのくらい減るか、その施設を使用し続けるかを考えながら、施設の在り方を検討していく必要があります。また、大規模改修は費用がかかるので、少しずつ維持管理しながら、そのときの園児数を考えながら検討しないといけないと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは分からないということか。
事務局（幼保こども園課）	<ul style="list-style-type: none"> ・今すぐという予定はありません。
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・そのほかにあれば伺いたい。 ・なければ、議題（3）について終了する。全体を通して、意見があれば伺いたい。 ・何もないようなので、連絡事項が事務局からあれば説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の予定について
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに意見がなければ、本日はこれで終了する。 ・閉会

以上